

【講義1】Zoomでのオンライン講義

講師：国際教養大学 千葉加恵子 先生

講義題：日本伝統文化の存続危機

- 講義内容：
1. 人類学、社会学とは？
 2. 国際教養大学について
 3. 実際に日本伝統文化を社会学の視点から考えてみよう。ジェンダー、階級の視点より。
 4. 日本伝統文化の危機を分析してみよう。 なにか可能性はのこされているのか。
 5. みんなで考察してみよう、もし自分が家元であれば、どのようなプロモーションをしていくのか。
 6. まとめ



《生徒の感想》

- ・人間として成長するには、常に自分が何をしたいか考えることと、自分の意見をしっかり持ち、人前でそれを表現することが大切だということを知った。
- ・先生の話の聞いたり、違う学年の人とグループワークしたりして考えを深めることができたと思う。今日話題になった社会学、人類学について少し興味がわいた。自分の将来を叶えるために何をすべきか考えさせられたので、まずは常に疑問を持つことをくせづけていきたい。
- ・みんなで話し合う機会があって、他の人の意見も聞けたのがうれしかったし参考になった。同じ学校に通っていても違う夢を持っていて、違う考えを持っているのだと気付きました。英語での授業も、集中して聞くので新鮮で楽しかったです。
- ・日本の文化が何十年後にあるという保証はないからこそ、どんなに小さな事でも今の若い人たちだからできる考え方で、日本の良さをこれからも残していきたいと、この講義を聞いて思った。
- ・普段考えることのない伝統文化について考える貴重な機会でありました。英語だけの授業がとても興味深かったです。

【講義 2】

講 師：ノースアジア大学 石川竹一 先生 荒幡克己 先生

講 義 題：アメリカ社会と政治経済：歴史的展開とその日米比較

- 講義内容：
1. 序論として：「ヤンキー」という言葉の意味再考
 2. 今なお残る南北戦争の深い傷跡
 3. ジェファーソン、ジャクソン等の民主党の系譜、リンカーン等の共和党の系譜
 4. トランプか、バイデンか、現代アメリカ政治とその日米比較
 5. リンカーンは奴隷を解放したので自由 貿易派か、それとも保護貿易派か
 6. アメリカ孤立主義と「明白なる運命」
 7. アメリカ経済成長史と日米比較：日本はいつ差を縮め、いつ差を広げられたか
 8. サンベルト、コーンベルト、ラストベルト：アメリカ産業立地論と国際競争力
 9. 最後に：アメリカの大学教育；留学の勧め



《生徒の感想》

- ・今回の講義を通して、もともと自分は英語学を選ぼうとしていたが、経済学を学んだことで「経済学って面白いな」と思い、経済学を学べる大学に行くのもありだなと思った。
- ・小さなことから発展させ、時代の特徴を教えていただき、自分の知らないことを多く知る機会を持つことができました。経済学には目を向けたことがなかったので、これを機に経済学にも視野を広げてみようと思います。
- ・アメリカやその他外国と日本を比較することによって、様々な目線で経済を見つめ直す事が必要だと感じた。また、最近日本では周りのアジアの国と比べて留学する人数が少なくなっているのを知り、私は留学してみたいなと思った。
- ・自分の将来の夢は、住んでいる湯沢で地方公務員として働くことなので、それにつながる経済はとても興味深かった。自分の夢を確実にするためにも、学校での勉強だけでなく、経済にも目を向けて学んでいこうと思う。

【講義 3】

講 師：秋田県立大学 堂坂浩二 先生

講 義 題：人工知能による社会課題の解決

講義内容：大量のデータから知識を学習する機械学習の発展に伴って、画像・音声・言語を理解する人工知能 (AI) 技術が社会に浸透してきています。本講義では、現在の人工知能技術の概要と、どんな社会課題を解決しうるのかについて一緒に考えていきます。また、皆さんが高校で学ぶ数学などの勉強が、人工知能技術や大学での研究にどのように関係するのかについても説明します。



《生徒の感想》

- ・今までは人工知能について細かいところまで知ってみたいと思っていなかったが、これまで行っているプロジェクトなどを聞いて、人工知能は何ができるのだろうという疑問と、調べてみたいという好奇心がわいた。
- ・普段当たり前のように見たり使用したりしている、機械技術による判断や予測は、結果に至るまでに、学校で学ぶ数学を活用して非常に細かく微分しながらできていることを知って、改めていい技術だと思った。便利な人工知能が増えてきているので、沢山活用していきたい。
- ・人工知能は、農業の方にも役立つ方法があることが分かった。この講義で、今習っていることがしっかりと大学でも活用されていたことや、これから大学を目指すにあたって、どのような知識や経験を積むのがよいのかなど知ることができた。
- ・人工知能などは人手不足のために農業や運転などに使われたりしていて、今後もっと使われるようになるので、僕も将来そのような研究などに携わり、人の役に立つ仕事をしたいと改めて感じました。
- ・AI が大量のデータやパターンから人間に近づく、または超えるようにするにはどうしたらよいかという研究の規模の大きさがよく分かった。講師の先生も例を多く挙げてくださり、とても分かりやすかった。

【講義 4】

講 師：秋田県立大学 阿部誠 先生

講 義 題：昆虫と植物の不思議な関係

講義内容：世の中には数多くの昆虫種がいます。そのなかでも、植物を食べる昆虫種は害虫として嫌われることが多いようです。いわゆる害虫は手当たり次第に植物を食べるイメージがありますが、実は決まった植物しか食べません。その理由は何でしょうか。「昆虫と植物の不思議な関係」の世界をちょっとのぞいてみませんか。



《生徒の感想》

- ・実際の写真や表を使って説明して下さったおかげで、理解は深まったと思う。今まで虫の研究と聞くと、生態について調査するものだと思っていたけど、それ以外にも分野はたくさんあり、またその調査が私たちの生活を支える知恵になることも知った。“今”をよりよくするためには身近なものから学ぶことが一番だと思った。
- ・はじめはあまり昆虫や植物に対して興味を持っていなかったが、研究結果より、虫の好き嫌いだったり、少し医療系に関する事だったりなど、昆虫や植物の話から、他の分野に関係していく話もあり、講義を通して新しい発見があったのでとてもいい機会になった。
- ・私はこの講義を聞いて、人間と同じように昆虫にも好き嫌いがあることに驚いた。また、環境省から指名手配書が出されたり、県から触書を出されるほど危険な昆虫もいることが分かった。私は生物にあまり興味が無かったけど面白いなと思った。これからは興味の無いことでも耳を傾けて色々なことを知っていきたい。
- ・今回の講義で苦手だった昆虫に興味を持つことができました。
- ・昆虫と植物の関係は複雑で、植物に含まれる成分などで昆虫の好き嫌いがあることや、それが様々な研究につながるなどいろいろなことを知って、昆虫の研究について興味を深められた。

【講義5】Zoomでのオンライン講義

講師：秋田大学 石井奈智子 先生

講義題：秋田大学で保健医療職を目指す！

講義内容： 1. 秋田大学医学部保健学科で得られる国家試験の受験資格

看護職（看護師、保健師、助産師）、理学療法士、作業療法士

2. 保健学科の4年間

1年：手形キャンパスで教養課程を中心に学びます（実習があるコースもあります）

2年：本道キャンパスで専門科目を中心に学びます（実習があるコースもあります）

3年：専門科目の講義の他に病院での実習

4年：病院臨床実習・卒業研究・国家試験対策

3. それぞれのコースでの学び

実習室の様子や物品から仕事内容を紹介します

4. 理学療法士と作業療法士の違い

5. 保健学科をめざすあなたに

6. こんな研究もしています 卒業研究の紹介



《生徒の感想》

- 私は将来、病院薬剤師になりたいと思っています。病院では、様々な人たちが患者さんを支えていることに改めて気づかされました。大学では、充実した実習を通して、自分の目標に向けて勉強できることに魅力を感じました。自分の興味のあることをもっと調べていきたいと思いました。
- 看護、作業、理学がそれぞれどのような勉強をしているのか、理解することができました。正直、今まで作業療法士と理学療法士の違いがよく分かっていませんでしたが、今回の講義を通して理解することができました。また、卒業研究を聞いて、とても面白い内容だなと思い、研究内容にとっても興味がわきました。今回の講義を、自分の進路にいかしていきたいと思います。
- 私は理学療法を希望しているが、作業療法士である石井先生の講義を聞いて、作業療法士にも少し興味がわいた。また、石井先生の歩み方や大学1年生～4年生の書くコースの流れを聞いて、これからの見通しを立てることができた。